

# 議会だより



80

のとちょう

2025. 11. 1

|                                |      |
|--------------------------------|------|
| なりわい再建支援事業の<br>独自加算費用を追加 ..... | 2-3  |
| 議長就任挨拶・議会と語ろう会を開催します .....     | 4    |
| 決算特別委員会からの報告 .....             | 5    |
| 議案をチェック・常任委員会レポート .....        | 6-7  |
| 一般質問（9人が登壇） .....              | 8-16 |
| 主な議会活動 .....                   | 17   |
| まちかどインタビュー<br>編集後記 .....       | 18   |



能登町議会へようこそ

月明かりの道（恋路地内）  
（写真提供：能登町写真クラブ）

# 業の町独自加算、 育て世帯への拡充

## 7年度一般会計予算総額を722億4053万円とした。

### 主な補正予算

#### ○総務費（2億2268万円）

- ・白丸地区高台移転の用地購入費等を追加
- ・能登創生住まい支援金の追加

#### ○民生費（3573万円）

- ・柳田地区戦没者の忠魂碑復旧補助金の追加
- ・老人福祉センター笹ゆり荘の修繕負担金の追加

#### ○衛生費（3995万円）

- ・能都埋立処分場屋外キュービクル更新工事費の追加
- ・奥能登豪雨災害廃棄物仮置場復旧工事費（藤波運動公園内）の追加

#### ○農林水産業費（6億4555万円）

- ・新規就農者支援補助金の追加
- ・宇出津新港水産加工施設復旧工事費の追加

#### ○商工費（4873万円）

- ・ひまわりカードポイント付与事業費の追加
- ・なりわい再建事業費補助金の追加

#### ○土木費（3億528万円）

- ・災害公営住宅の施工業者決定のためプロポーザル費用の追加
- ・鵜川地区災害公営住宅の建設測量業務費用の追加

#### ○消防費（6935万円）

- ・宇出津分署の本署化に伴う工事費の追加
- ・Jアラート受信機システム更新費用の追加

#### ○教育費（4077万円）

- ・旧柳田公民館柳田分館解体工事費の追加
- ・小中学校給食費無償化に要する費用の追加

#### ○災害復旧費（10億3958万円）

- ・林道施設の応急復旧費、災害復旧費の追加
- ・砂防施設の復旧費の追加（神和住地区・黒川地区）

令和7年第7回能登町議会9月定例会議を9月5日から19日にかけて開会し、町長提出議案20件、令和6年度決算の認定7件が提出された。議案は令和7年度の補正予算のほか条例改正や請負契約の締結の変更などであり、議案は常任委員会によりそれぞれ審査し、全議案を可決した。17日には

9人の議員が町政全般について一般質問を行った。また、19日に追加議案5件が上程され、いずれも原案可決とした。続いて議長の辞職が許可され、議長の選挙が行われた。新組織は4ページをご確認ください。



# なりわい再建支援事業 住宅取得支援金の子

一般会計補正予算に24億4764万円を追加し、令和

## その他の主な議案

### ○請負契約の締結の変更

- ・ ケーブルテレビ関連設備災害復旧事業及び高度無線環境整備工事
- ・ 町道1級藤ノ瀬字加塚1号線道路災害復旧工事
- ・ 町道鵜川矢波1号線道路災害復旧工事
- ・ 町道恋路1号線道路災害復旧工事

### ○請負契約の締結

- ・ 桜木団地浄化槽復旧工事 須美矢建設 株式会社

## 追加議案

### ○請負契約の締結

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ・ 道路災害復旧工事・黒川地区  | 柳田建設 株式会社        |
| ・ 松波漁港災害復旧工事     | 株式会社 西中建設        |
| ・ 道路災害復旧工事・十郎原地区 | 島屋建設 株式会社        |
| ・ 鵜川漁港災害復旧工事     | 宇佐美工業 株式会社 北陸(営) |
| ・ 林道水上線3号箇所復旧工事  | 株式会社 西中建設        |

## 7月会議

令和7年第5回能登町議会7月会議を開会し、議案4件について原案可決とした。

### ○請負契約の締結

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| ・ ため池災害復旧工事            | 米沢電気工事 株式会社 |
| ・ 能都埋立処分場災害復旧工事(外構部)   | 鈴平建設 株式会社   |
| ・ 能登海洋水産センター災害復旧工事(外構) | 株式会社 西中建設   |

### ○財産の取得

- ・ 災害公営住宅用地

## 8月会議

令和7年第6回能登町議会8月会議を開会し、議案3件について原案可決とした。

### ○請負契約の締結

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| ・ 水路災害復旧工事              | 柳田建設 株式会社 |
| ・ 災害関連林地崩壊防止事業 上町地区     | 北能産業 株式会社 |
| ・ 国民宿舎能登やなぎだ荘別館(御前)解体工事 | 北能産業 株式会社 |

## 議長就任のご挨拶

このたび、9月定例会において、第11代能登町議会議長に就任いたしました。誠に光栄であるとともに、責任の重さを痛切に感じています。引き続き能登半島地震からの復興と再生に向け 町民の皆さまの負託に応えるべく最善の努力を尽くしてまいります。議会においても、公平・公正かつ円滑な運営に誠心誠意努めてまいりますので、町民の皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ就任の挨拶といたします。



能登町議会議長  
市濱 等  
(令和7年9月19日就任)

## 議会の組織の変更

教育厚生常任委員会 委員長 向峠 茂人  
議会運営委員会 委員 向峠 茂人

あなたの意見をお聞かせください

# 「議会と語ろう会」

を開催します！

町内3会場 同時開催

|    |           |           |
|----|-----------|-----------|
| 日時 | 11月19日(水) | 午後7:00～   |
| 場所 | ● 能登町役場   | 2階 大集会場   |
|    | ● 柳田公民館   | 3階 多目的ホール |
|    | ● 内浦総合支所  | ホール       |

能登町議会では、議会活動をご理解いただくとともに、町民の皆さまの意見を議会活動に反映させることを目的に「議会と語ろう会」を開催します。

どの会場でも  
お気軽にお越しください



事前申し込みは  
不要です

- 能登半島地震・奥能登豪雨に関すること
- 能登町議会に関すること
- その他、地域の困りごと、町の重要な事項に関すること

問合せ：能登町議会事務局 ☎ 62-8540

## 令和6年度決算特別委員会 総括・講評

### ■審査の経過と結果

本特別委員会に付託された案件は、令和6年度における7会計の決算認定である。9月10日から16日までの実質4日間、委員会を開催し、地方自治法233条により提出が義務づけられている「決算書」「主要施策の成果説明書」「監査委員からの審査報告書」などを精査した。関係課からの説明を聴収し、予算執行が適正かつ効率的に行われたかを慎重に審査した結果、認定第1号「令和6年度能登町一般会計歳入歳出決算の認定について」から認定第7号「令和6年度能登町病院事業会計の認定について」までの7件について全会一致で認定すべきものと決定した。

### ■主な意見・提案

**一、復興への感謝と予算執行：**能登半島地震発災当初から支援をいただいた全国の皆様、ボランティアの方々、派遣職員の皆様に深く感謝を申し上げる。決算においては、災害復旧により例年にない規模の予算となり、やむを得ない明許繰越や未執行も見受けられる。令和7年2月策定の復興計画に基づき、適正な予算執行に努められたい。

**一、被災者への丁寧な対応：**被災した町民に寄り添い、来庁者や問い合わせの対応においても親切丁寧な対応にあたって頂きたい。

**一、町税収納の公平性：**震災で事情が変化した納税者には、実情にあった対応にあたるなど、町民が不公平感を抱くことがないように適正な収納に努めて欲しい。

**一、復興に資する事業執行：**住民ニーズや費用対効果を重視し、メリハリのある予算執行を推進して欲しい。また、認知度の低い補助制度等は町民への周知徹底に努めて頂きたい。

**一、上下水道事業の持続可能性：**震災による管路修繕は不可欠であるが、人口減少を見据えた維持管理の最適化が求められる。復興計画に基づき、持続可能な運営を検討されたい。

**一、病院事業の将来対応：**看護師等修学資金貸付事業による人材確保、高額医療機器の更新については、奥能登4病院のサテライト化や新病院構想など今後の動向を踏まえて検討されたい。

**一、公共交通の確保：**予約制乗合タクシーは利用が大幅に増加し重要な交通手段となっている。一方でバス路線の利用減を分析して、町民が安心して通院や買い物に出かけられるよう取組みを進められたい。

**■財政運営と将来課題：**令和6年能登半島地震の影響により、人口流失や被災による町税・普通交付税の減少が懸念される。復旧・復興に伴う公債費の増加や公営企業の経営悪化も見込まれる。創造的復興と健全な財政運営という、相反する課題に対し、より一層の財源の有効活用と、適正な運営に努められたい。

### ■結びに

震災から1年8か月余り、インフラ復旧は進む一方で、町民の「心の復興」はなお途上である。町民一人ひとりが「この町に住んでよかった」「この町が好き」と言えるような町づくりを目指して町政運営に尽力されることを切に願い、決算特別委員会からの総括とする。



現地視察の様子（県漁協 能都支所 仮設卸市場）

### 決算特別委員会

委員長 鍛冶谷眞一

副委員長 酒元法子

委員 小浦 肇

馬場 等

市濱 等

小路政敏



## 議案をチェック

### 9月定例会議の議案質疑

岡田端雄市議員

町なりわい再建支援事業について、従来の上限100万円を300万円に拡充するとあるが、復興基金を活用して拡充することに至った経緯を説明せよ。

岡町長

町が単独で支援するより、国や県から支援を受けたほうが町の負担にならないと考えていた。

奥能登の他の市町の支援状況と比較し、担当課とも協議をして、町が支援できるのは、300万円までの拡充との判断に至った。しかし、これで9割支援ができたとは考えていない。今後も支援を続けたい。



宇出津新町商店街

## 予算常任委員会

志幸 松栄（委員長）  
向峠 茂人（副委員長）  
（委員は議員全員）

能登創造的復興支援  
町交付金の具体的な歳出は何か。

岡

震災遺構展示施設（白丸郵便局）の設計に700万円、地域コミュニティ施設等再建支援事業に1億円、被災宅地復旧支援事業に2億6000万円、町なりわい再建支援事業に2660万円、合計3億9360万円になる。

岡

墓地公園管理費の返還金として9区画分があげられている。販売可能な区画はいくつあるのか。

岡

現在のところ、販売可

能区画はない。

岡

防災総務費で災害時職員行動マニュアルの改定業務費があげられているが、改定内容は。

岡

従来のマニュアルは、能登半島地震のような大規模災害を想定していなかった。今回の改定は検証結果に基づき抜本的な改正となる。

岡

ひまわりカードのポイント付与事業について、今回プッシュ型で付与するとなった経緯を説明せよ。また、公平に配るという意味では商品券という考えもあったのではないのか。

岡

町の施策として、ひまわりカードを推奨している。商品券の配布には経費と時間がかかるため、

ひまわりカードでのポイント付与とした。

岡

インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスの接種対象者は。また、コロナワクチンの自己負担分はいくらか。

岡

予防接種法上の接種対象者は65歳以上の方と60歳から64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に障害のある方である。対象の方々には個別に通知をする。コロナワクチンの自己負担は4500円である。

## 総務産業建設委員会

馬場 等（委員長）  
小浦 肇（副委員長）  
松本光雄 南 正晴  
酒元法子 河田信彰  
志幸松栄

岡

地区集会所について、再建する場合は、その後、地区に引き渡すものと理解しているのか。

岡

集会所の再建にあたっては、3千万を上限として、地区に補助金を支援する。管理運営は地区で行う。

岡

都市計画税条例の一部改正について、農地の地目変更により新たに税金が掛かってくるのではないのか。

岡

土地の地目は田んぼで、以前から都市計画税は掛かっていた。新たに課税されるものではない。



教育厚生委員会

問 農業委員会の農地利  
用最適化推進委員の定  
数の削減は、耕作放棄  
地が増えたことが要因  
か。

答 耕作放棄地が増えてき  
たことにより、町内の農  
地面積が1200ヘクタ  
ールになった。農業委員  
のガイドラインには、1  
00ヘクタール当たり  
1人を配置するものとあ  
るので12人が妥当とした。

問 少しでも耕作放棄地  
をなくすために、年寄  
りでもできる仕事があ  
るか、町として何か案  
はあるか。

答 草刈りや天地返しをす  
れば農地として利用でき  
る耕作放棄地について、  
中山間直接支払い制度が  
ある。地区に制度を紹介  
し、農地の有効利用を進  
めていきたい。

問 山林化した耕作放棄  
地を、非農地化すれば  
税金はどのようになる  
のか。

答 地目変更を行うことで、  
固定資産税については、  
一般的に農地より山林の  
ほうが安いと認識してい  
る。非農地化することで、  
固定資産税が減り町には  
デメリットもあるが、こ  
のまま何もせず放置して  
おくと、農地転用などが  
難しくなる。現況にあつ  
た地目の変更を進めるた  
め非農地手続きを推進す  
る。

問 宇出津病院のベッド  
数を削減する条例につ  
いて、今後の見通しは。

答 当面は10床減の90床で  
進める。

問 医療従事者の不足に  
対応するため、定年延  
長の考えは。

答 看護師、技師、院長経  
験者の医師を会計年度任  
用職員として採用してい  
る。

問 一般の医師の再任用  
はできないのか。

答 期間延長の必要性は院  
長が判断するが、今はル  
ール通り65歳で定年退職  
してもらい若い医師に来  
てもらおう考えである。

市濱 等（委員長）  
小路政敏（副委員長）  
田端雄市 金七祐太郎  
向峠茂人 鍛冶谷眞一

なりわい再建事業について討論！

9月定例会議の最終日に、議案第71号令和7年度能登町一般会計補正予算（第2号）町なりわい再建支援事業補助金について、田端雄市議員が反対討論、鍛冶谷眞一議員が賛成討論を行った。

反対討論

田端 雄市 議員



町なりわい再建支援事業について、町長の9割補助の公約は、国や県の交付金の上乗せ支給がないとわかった時点で公約の撤回をするべきである。町復興基金を使っての上乗せ事業補助金は、公約の実現ではなく、議論のすり替えである。

賛成討論

鍛冶谷 眞一 議員



今は災害からの復旧・復興こそが最優先される議題である。執行部がこの町に住みたい、戻ってきたいという町民の支援のため心強い議案を提出したものである。

令和7年第7回9月定例会議の審議結果（賛否の分かれたもの）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

| 結果可否 | 議案                           | 議員名  |     |     |      |       |     |     |      |      |      |      |
|------|------------------------------|------|-----|-----|------|-------|-----|-----|------|------|------|------|
|      |                              | 松本光雄 | 小浦肇 | 馬場等 | 田端雄市 | 金七祐太郎 | 南正晴 | 市濱等 | 小路政敏 | 酒元法子 | 河田信彰 | 向峠茂人 |
| 可決   | 議案第71号 令和7年度能登町一般会計補正予算（第2号） | ○    | ○   | ○   | ×    | —     | ○   | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |

志幸 松栄 鍛冶谷眞一

# いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

## 9月定例会議の一般質問（17日）

### 問 苦情対応にさらなる整備を

#### 答 真摯に受け止めることが必要



たば 田端 ゆういち 雄市 議員

問

行政に対する苦情が多い。町づくりの基本は、行政と町民の意思疎通を図ることである。苦情の解決は、町の前進とらえ、できるだけ多く求め、それを公開することを提案する。また庁舎内で共有することが重要だ。町長は今後どのような取り組みをするのか。

答 町長

苦情は真摯に受け止めることが基本である。苦情の解決は、町政の発展につながるのとらえており、皆様の意見を町政に

### 問 インフラ復旧の優先順位を示せ

#### 答 定期的に状況を把握し、伝える

問

震災後、1年9か月が過ぎたが、復旧の力強さを感じられない。先の見通しが不明瞭な中では町民は安心できない。道路インフラ整備の整備順位を示し、復旧のスケジュールを可視化することで不安を取り除く努力をすべきだ。

答 町長

復旧イメージの可視化は住民の安心につながる。経験のない災害であるため困難はあるが、今後、情報発信の強化を図りたい。11月には、地区懇談会も計画しており、定期的に状況を公表し伝えていきたい。



役場に設置されている意見箱

### その他質問

⑤学校体育館にエアコン設置の整備を。

答 教育長

学習環境の向上、災害時の避難所の安全・健康の面など、近年の熱中症の状況も踏まえると、エ

エアコン設置は早期にすべきと考えている。今後の事業計画で、優先順位を決め、計画を進めて早期に実施に取り組む。

答 町長

少子高齢化の進むなかで、町の持続的発展のため、町民一人一人の意識が大事となる。自信と誇りをもてる協働による町づくりを目指す。現在、総合計画の作成過程にあり、幸福度の向上や関係人口を増やすことを検討している。シビック・プライドの思想と理念を学び、地域活動に生かしていきたい。

シビック・プライドとは

市民が都市（まち）や地域に対して持つ「誇り」や「愛着」を表現する言葉。まちをより良い場所にするために関わっているという意識を伴う自負心のこと

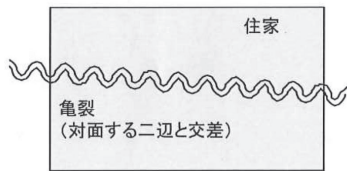




いちはま ひとし 議員  
市濱 等



【外観による判定のみで「全壊」と判定】



住家を横断・縦断する亀裂の例

内閣府「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」  
参考資料より

## 問 原発立地への財源支援について

### 答 機会をとらえて要望したい

問 国による財源支援が原発立地自治体周辺の10キロから30キロに拡大した。能登半島の場合、能登町と珠洲市がその対象から外れた。万が一の際、避難経路が絶たれる能登町も財源補充が必要である。国や各方面に要望するべきだ。

また海上避難や避難シエルターを造成する予算配分も重要である。

答 町長

原子力災害時には広域的な避難や支援体制の整備が不可欠である。

国の財政支援の拡充で広域連携や避難体制の強化がより一層期待できる。機会をとらえて要望する。避難経路の確立や防災体制の強化についても関係機関と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

## 問 住家被害の判定基準について

### 答 基準に沿って判定を行っている

問 規定では住家の1辺から1辺に亀裂が無ければ全壊の判定が下りない。ある。一隅一隅斜め亀裂があってもその住家には住むことができない。これも半壊以上と判定するべきである。

答 税務課長

一部一角の亀裂では全壊判定とはならない。町では内閣府の被害認定基準運用指針に基づき判定を行っている。地盤面の亀裂が住家の直下を縦断・横断する場合のみ全壊と判定する。能登半島地震後に改定された被害認定基準にも一部一角の亀裂を全壊判定とする規定はなく、今後も基準通り判定する。

## その他質問

問 内浦海域海底調査を早急に実施し公表を。

答 総務課長

町単独での調査は困難であるが、専門機関の調査結果を活用し、防災・減災対策に反映したい。町としては、関係機関と連携し津波や地震のリスクが高まる場合は迅速な避難や安全確保に向けた体制整備を進める。

答 総務課長

町では防災教育が定着している。防災士資格取得には現在も補助が出ている。高校生への支援は「能登高を応援する会」と連携し支援を考える。

## 問 農免道路間島地区の早期復旧を

### 答 年内の工事発注を目指し努力する



かじや しんいち 議員  
鍛冶谷 眞一

問 昨年9月議会で農免道路間島地区の地震災害復旧工事について質問した。その際の答弁は令和6年度中に工事発注し、令和7年度に工事完了を目指すとのことであった。残念ながら先日の8月12日の豪雨で地区の大半が床下浸水し、パン屋さんでは工房内に泥水が浸水し、稼ぎ時のお盆に休業を強いられた。今後の対応策を示せ。



通行止めとなっている農免道路

答 建設水道課長  
今回の大雨では、通称農免道路（町道藤波矢波1号線）の上流のため池の一部が決壊し、土石流が発生したため間島地区一帯が浸水した。応急対策として土砂止めの設置を検討し再発防止に努める。農免道路の災害復旧工事は、国の災害査定を受検した後、奥能登豪雨災害により着手が遅れた。現在、進めている詳細設計をもとに年内の本復旧工事の発注を目指している。早期の供用開始に向けて努力する。



大規模な崩落で不通となっている宇出津第3トンネル

答 建設水道課長  
被災トンネル（町道1級宇出津8号線宇出津第3隧道）出入口では地震

発生直後から大規模な崩落が発生し法面に大きな岩が残っており、土砂撤去作業が非常に危険な状況である。慎重な作業が求められる中、奥能登豪雨災害への対応で調査が遅れている。今年3月から詳細設計に取り掛かっているが、国との協議が必要であり、関係機関と連携しながら進める。

問 宇出津から十八束を通り松波へ向かうトンネルの出入口付近では地震発生直後から大規模な崩落でふさがったままである。宇出津と時長、松波を結ぶ生活幹線道路の復旧計画を示せ。

答 町長  
県は宇出津地区の越水対策として応急的に大型土嚢や排水ポンプの設置を実施、また護岸のかさ上げを進めている。小木港でも、土嚢や排水ポンプの設置を予定している。臨港道路の本格復旧について、県が国土交通省に権限代行し計画を進めている。

問 トンネル出入口の大崩落について  
答 国と協議し慎重に進める

## その他質問

問 宇出津地区、小木地区での地盤沈下と高潮対策について。

答 町長

高潮時の排水不良については、能登内浦地域冠水・高潮対策検討協議会で総合的に検討していく。



むかいとうげ たかと 議員  
向峠 茂人

## 問 地区祭礼の招待の在り方を問う

### 答 感謝とねぎらいの気持ちで招待した



答弁する吉田町長

問

町長が職務中に地区祭礼への招待状を職員に渡した意図は。

答 町長

課を代表して課長を自宅に、中長期派遣職員を集会所へ招待した。日頃の尽力への感謝とねぎらいの気持ちであった。能登独自の地域文化を体験し、地域への理解を深めてもらうため、また応援職員同士の親睦も深めてもらいたいと考えた。個人的な利益や特定の立場を優先したものではない。

問

公人 吉田義法としての認識はあるのか。発言はすべて能登町のトップの発言になることは自覚しているのか。

答 町長

町長に就任した時点で町の代表として責任と自覚を持って職務に当たっている。町長は町政運営や地域の課題解決、町民の福祉向上など公共の利益を最優先に考え、意思決定や施策の推進を行うべき立場であると認識している。自分が発信することによって町民の皆様への考えを知ってもらえる機会となる。町政への興味を持ってもらうきっかけにもなると考えている。

## 災害公営住宅の造成を問う

### 答 アンケート調査を精査し報告する

問

五郎左工門分・天坂での災害公営住宅（柳田団地）建設予定の進捗状況を聞く。

答 復興住宅課長

用地買収は42筆中41筆が完了している。残りの1筆は相続の関係で時間を要している。

住宅の間取りは2DKで50㎡、2LDKで60㎡、

3LDKで70㎡の3タイプを予定している。家賃は公営住宅に入居する世帯の前年の所得によって決定される。

現在、52戸の整備予定としているが、先月のアンケート調査により、精査を行っており、集計が終わり次第報告したい。

近隣住民への説明会は、地権者に対しては、何度か開催している。その他住民からの希望があれば開催したい。



災害公営住宅（柳田団地）建設予定地



## 問 災害関連死が多くなった理由は

### 答 避難生活の長期化など間接的要因



ば 馬場 ひとし 議員

問 能登半島地震による能登町の死者数は、直接死が2人と災害関連死が74人の合計76人である。奥能登2市2町の中では、災害関連死の割合が97%と一番高く、防ぐことができたかもしれない命があったのではないか。災害関連死が多くなった要因は何か。

答 町長 災害関連死亡者数が多くなった要因としては、災害後の避難生活やそれに伴うストレス、既往症の悪化などである。また、水道、電気等のインフラ復旧に時間を要し、非常に多くの方々が長期避難生活をせざるを得ない状況等になったことにより、関連死亡者数が増えたと考えている。



避難所となった松波中学校の様子

## 問 仮設住宅や自宅への見守り体制は

### 答 健康確認や相談対応を実施している

問 仮設住宅や自宅暮らし、高齢者や体の不自由な方々への見守り体制は、現在どのように行われているのか。また、今後、仮設住宅から災害公営住宅などへの転居が始まると、町としてどのような体制で見守り支援を継続していくのか。

答 健康福祉課長 現在の体制は、能登町地域支えあいセンターによる見守り相談事業を中心に、NPOやボランティア団体と連携しながら定期的に訪問し健康確認や相談対応を行っている。



仮設住宅（かんまち団地）

また、孤立防止や健康維持のため、集会所や公民館の利用を促進し、サロン活動を通じてコミュニティの形成や交流の場を提供している。今後もしばらく、地域支えあいセンターや関係機関が連携し、継続的支援を行う。さらに、共助の部分として、地域の方々や区長、町内会長の皆様には身近なご近所同士での声掛けや安否確認などをお願いしたい。

## その他質問

問 「中学生議会」名称変更の理由と優れた提案があれば予算を確保し、実際に施策として実行すべきと考えるが、町の考えは。

答 教育長 今年度、ふるさと教育の取り組みとして能登町子ども議会体験事業を見直し、名称を変更した。事業内容は、小学生には議場見学、中学生には模擬議会と「私が町長だったら」の作文の3本立てとした。子供たちが町役場、議場の見学や模擬議会の体験を通して議会の仕事や学び、町政に関心を持ってもらうことを目的とした。模擬議会は、教育活動として捉えているが、中学生が一生懸命考えてくれた提案であるので、今後の町づくりの参考やアイデアとして積極的に活用していきたいと考えている。



はじめ 小浦 議員

## 問 自然災害の危機管理について問う

### 答 地域防災計画を運用している

問

どのようなルールがあり、どのように危機に対応するのか。

答 総務課長

能登町地域防災計画に基づき、町長が災害対策本部長として指揮を執ることが基本である。町長不在時は、教育長・町参事・指定職員が権限代行する。各課役割分担等が規定されており迅速に意思決定・対応する体制である。

問

8月6日から大雨に対するリスク評価と対応計画は。

答 町長

大雨による冠水・土砂崩れ等のリスクに対し事前に情報収集と体制強化を図った。  
金沢気象台の大雨情報を受け、コンセールのと、柳田公民館、松波公民館の自主避難所の開設を指示した。宇出津・小木港の高潮被害の通報により、

消防団、ボランティア団体と連携し、土嚢や排水ポンプを設置した。雨のピークが過ぎ、高潮による生命の危機がないと判断し、災害本部を立ち上げなかった。

## 問 8/7～8/9県外出張の判断経緯を問う

### 答 各種情報を職員と協議し判断した

問

大雨災害の中、県外出張を行った判断は正しかったのか。出張の途中で戻る考えはなかったのか。

答 町長

気象予報と被害状況、町の災害対応体制が整っていること、出張先業務の有益性などを総合的に判断した。また、今回の大雨・高潮被害の対応体制も機能しているので出張の継続を判断した。



梶川と冠水した町道

## その他質問

⑤町長不在時の体制や対応を問う。

答 町長

総務課長を軸に各課が連携し、対応を協議していた。また、出張先で「報告・連絡・相談」を受け、指示しており問題はなかった。

⑥町長不在時、代務者でなく町長が対応する規則に見直す必要性は。

答 町長

デジタル機器の活用により、現場状況をリアルに把握し指示できるため、重要な判断は町長ができる。

る状況を確保している。  
⑦副町長の就任見通しを問う。

答 町長

町政の安定と復興事業加速に、必要不可欠であり、慎重に進め早期選任に努めている。

就任時期は現時点で明示できない。

⑧能登町DX推進計画を問う。

①情報システムの標準化と共有化

②テレワーク・モバイル端末等の環境整備

③AI・OCR・RPA導入の検討の各進捗は。

答 総務課長

①R7月で、昨年比21・8ポイント増の72・9％。

②進捗ゼロ

③進捗ゼロ

④能登創造的復興支援交付金23億932万円の活用(用途)は。

答 企画財政課長

交付金活用対象8項目をもとに地域の実情や課題に即した事業を展開している。



かわだ のぶあき 河田 信彰 議員



かさ上げされた道路（宇出津地内）

## 問 高潮や冠水の今後の対応は

答 海水の越水を防ぐ工事を進める

問

地震による地盤沈下の影響で、宇出津地区や小木地区では大雨や高潮の際、床下浸水被害が相次いでいる。8月の大雨の際には、宇出津地区では約90世帯、小木地区では約70世帯が床下浸水するなど、多くの民家や事業所が避難や営業停止に追い込まれた。1年以上たっても、地震直後からの被害状況は続いている。

海岸堤防や水門の整備などハード面と警戒・避難体制の強化などソフト面が一体となった総合的な対策が必要と考える。これまで、国や県、関係機関などに対し、どのような協議や働きかけを行ったか。また、今後の対応策は。



排水溝から逆流する海水

答 町長

海水による冠水については、県及び権限代行している国が港湾の臨港道路のかさ上げや物揚げ場の復旧計画を進めている。町としても、国、県の協議に参加し、早期復旧を働きかけている。

現在は応急的に、宇出津地区、小木地区で道路面をアスファルトでかさ上げしている。県が実施する宇出津地区の物揚げ場は、今年3月に発注済みとなっている。

臨港道路については、地区住民に対して復旧計画の説明を進めており、早期発注を目指している。

浸水被害者への支援については、県の基金による事業や補助事業を活用したい。

県では、8月の大雨被害を受けた事業者が活用できる補助制度の創設を予定しており、内容が分かり次第、周知する。





しこう しょうえい  
志幸 松栄 議員

## 問 住宅耐震化へ向けての対策は

### 答 国、県と連携し耐震化率向上を図る



住宅の修繕工事（イメージ）

問

① 持ち家を保持、耐震化することは、能登町の人口減少抑制に寄与するものである。震災後、耐震診断を行った件数と耐震化工事、そして完成にいたった件数は。  
② 羽咋市以北の市町の耐震改修補助金は。また今後の震災対応を強固にするため、町の補助金アップを検討しているのか。  
③ 能登町の住宅耐震化率はどうなっているのか。

答 復興住宅課長

① 耐震診断の申請件数は令和7年8月末時点で39件であった。耐震改修工事の完成に至った件数は残念ながらまだない。  
② 羽咋市以北の市町の耐震改修補助金の額は各市町で制度に違いがあり、210万円から310万円となっている。能登町は現在230万円である。  
③ 能登町の耐震化率は現時点では調査は行っていないが、平成31年3月に策定した能登町耐震化促進計画では約53%となっている。  
計画の見直しに合わせて調査を行いたい。

答 町長

住宅改修補助金のアップについて、国や県と連携し、制度の拡充を随時行っており、今年7月に180万円から230万円に引き上げた。今後も耐震化率の向上に努めていく。

## 問 住家の修繕対策について

### 答 相談体制の強化を図る

問

半壊や一部損壊の方で住宅の修繕を検討している町民の方は、安心して任せられる建設業者が見つけられないなど、様々な苦勞をしている。相談を含めた対策は。

答 復興住宅課長

被災者の生活再建支援や相談体制の強化を図りながら個々の事情に寄り添った支援ができるよう関係機関と連携しながら取り組んでいく。修繕を検討している方は、役場の窓口や相談会を活用いただきたい。



再建支援相談窓口（役場1階里海ラウンジ）

## 問 災害公営住宅予定地の浸水対策は

### 答 道路の高さに造成・盛り土を行う



みなみ まさはる 議員

〔問〕

災害公営住宅柳田団地の建設予定地の、天坂、五郎左工門分の土地は、昨年9月の豪雨災害、今年8月の大雨で寺分川が氾濫し、浸水している。護岸も崩れており、雨が降るたびに建設予定地に浸水が心配されるが、対策は。

〔答〕 復興住宅課長

建設予定地は、現在の田面から接続する珠洲道路と同じレベルまで造成、盛り土する計画にしており、団地への冠水は無いと考える。団地造成に当たり、雨水に対しては調整池を設置し、排水の機能強化を図っている。



災害公営住宅（柳田団地）建設予定地 手前が寺分川

〔問〕

昨年の能登半島地震、奥能登豪雨災害から氾濫する河川が増えている。復旧、復興の計画は、当該地区の区長や住民に周知されているのか。

〔答〕 建設水道課長

庁内連絡調整会議を立ち上げ準備しており、町全域の被害状況や復旧の優先度を整理して情報発信の強化を考えている。

## 問 スマート農業支援の拡充を望む

### 答 機械導入に特化した事業を検討

〔問〕

地震、豪雨で被害を受けた農地は、令和9年4月から震災前の耕作が可能であると思込まれる。後継者や新規就農者を育てないと農地が復旧しても、農業の継続は難しい。スマート農業の導入には、施設や機械購入費など莫大な費用がかかる。国や県の補助制度に町でも独自に上乗せすることはできないか。

〔答〕 町長

新規就農者や※スマート農業機械の導入に対する国の支援は手厚く、メニューも充実している。要件に合致する新規就農者に対し、町では適した事業の申請を提案している。国や県の事業要件に合致しない機械導入支援は、町単独で広く対応するようにしている。財政状況を鑑み、スマート農業機械導入に特化した事業の検討をしていきたい。



ドローンを使った農薬散布

## その他質問

〔問〕 準半壊住家への解体補助金制度の創設は考えていないのか。

〔答〕 総務課長

住宅復旧支援補助金制度を設けており、準半壊世帯には上限30万円、一部損壊世帯には定額15万円を補助している。また、県の災害義援金の5次配分も決定している。準半壊住家への解体費助成は現時点では設けていない。既存の補助制度や義援金の活用をお願いしたい。

※スマート農業

ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産を可能にする新たな農業のこと

7月から9月の主な議会活動

- 7月9日  
沖縄県南城市議会行政視察受け入れ
- 7月14日  
宮崎県小林市議会行政視察受け入れ
- 7月17日  
広報編集特別委員会
- 7月23日  
議会運営委員会・議員全員協議会・  
第5回能登町議会7月会議
- 7月30日  
議会広報研修会（県地場産業振興センター）
- 8月21日  
議会運営委員会・議員全員協議会・  
第6回能登町議会8月会議
- 8月26日  
議員・監査委員合同研修会  
（KKRホテル金沢）
- 8月27日  
能登町中学生議会
- 8月28日  
議会運営委員会
- 9月2日  
議員全員協議会・議員懇談会
- 9月5日  
第7回能登町議会9月定例会議  
（議案上程）
- 9月8日  
予算常任委員会
- 9月9日  
総務産業建設常任委員会・教育厚生常任委員会
- 9月10日  
決算特別委員会（～16日まで）
- 9月17日  
第7回能登町議会9月定例会議（一般質問）
- 9月19日  
議会運営委員会・議員全員協議会・  
第7回能登町議会9月定例会議（採決）・議会運営委員会
- 9月29日  
県町村議会議長会議協賛会・  
県市町議会議員公務災害補償等組合臨時議会  
（県地場産業振興センター）



議員・監査委員合同研修会の様子

令和7年出欠状況表

○…出席    欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席    公…他の公務あり    一…対象外    オ…オブザーバーとして議長が出席

| 月 日   | 会議名         | 議員名 | 松本<br>光雄 | 小<br>浦<br>肇 | 馬<br>場<br>等 | 田<br>端<br>雄市 | 金七<br>祐太郎 | 南<br>正晴 | 市濱<br>等 | 小路<br>政敏 | 酒元<br>法子 | 河田<br>信彰 | 向峠<br>茂人 | 志幸<br>松栄 | 鍛冶谷 眞一 |
|-------|-------------|-----|----------|-------------|-------------|--------------|-----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 7月17日 | 広報編集特別委員会   |     | —        | ○           | ○           | ○            | —         | ○       | —       | ○        | —        | —        | ○        | —        | —      |
| 7月23日 | 議会運営委員会     |     | —        | —           | ○           | ○            | オ         | —       | ○       | —        | —        | 欠        | —        | ○        | ○      |
| 7月23日 | 議員全員協議会     |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | 欠        | ○        | ○        | ○      |
| 7月23日 | 7月会議        |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | 欠        | ○        | ○        | ○      |
| 8月21日 | 議会運営委員会     |     | —        | —           | ○           | ○            | オ         | —       | 欠       | —        | —        | ○        | —        | ○        | ○      |
| 8月21日 | 議員全員協議会     |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | 欠       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 8月21日 | 8月会議        |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 8月28日 | 議会運営委員会     |     | —        | —           | ○           | ○            | オ         | —       | ○       | —        | —        | ○        | —        | ○        | ○      |
| 9月2日  | 議員全員協議会     |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月5日  | 9月定例会議      |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月8日  | 予算常任委員会     |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月9日  | 総務産業建設常任委員会 |     | ○        | ○           | ○           | —            | —         | ○       | —       | —        | ○        | ○        | —        | ○        | —      |
| 9月9日  | 教育厚生常任委員会   |     | —        | —           | —           | ○            | ○         | —       | ○       | ○        | —        | —        | ○        | —        | ○      |
| 9月17日 | 9月定例会議      |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月19日 | 議会運営委員会     |     | —        | —           | ○           | ○            | オ         | —       | ○       | —        | —        | ○        | —        | ○        | ○      |
| 9月19日 | 議員全員協議会     |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月19日 | 9月定例会議      |     | ○        | ○           | ○           | ○            | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○      |
| 9月19日 | 議会運営委員会     |     | —        | —           | ○           | ○            | —         | —       | オ       | —        | —        | 欠        | 欠        | ○        | ○      |



# まちかど

## インタビュー



右から3番目が水上舟靖さん

今回のまちかどインタビューは「糸かけデザイン研究所能登工房」糸かけ師の「水上舟靖」さんです。

（インタビュー）

南 正晴

### ◆糸かけアートとの出会いは。

書道の教材をネットで

検索していて偶然出会いました。今となつては必然だったのかもしれないと思っています。

### ◆今までの活動は。

免許皆伝の修行に入る前に当時の柳田総合支所の所長さんから「ロビーで展示をしてみませんか」と誘いを受け展示会を実施しました。その後、柳田公民館から「糸かけ教室」の誘いをうけ、令和4年4月23日に「糸かけアート教室」を開催。それから月一回の教室を継続して開催しています。その間に「糸かけ師 舟靖」として免許皆伝をいただきました。

今年にはボランティア団体「のとテラス」から協力をうけ、上町、小間生、神

## 糸かけアート教室で笑顔に

野の公民館で「糸かけで笑顔」と掲げボランティア活動を展開させていたと思っています。参加してくださった方の作品数は90作品ぐらいになります。

### ◆糸かけアートの魅力は。

糸かけは、彩鮮やかな糸を選びながら、板に打たれたピンに糸をかけていくことで幾何学的な美しい形が浮かび上がります。頭も指先も使いますし、感性も磨かれる素敵な工芸だと思っています。

### ◆町・議会に対して何か一言。

これからの能登は、今



集中力アップやリラックス効果もあります



カラフルな糸を規則正しくかけていく

回の震災からの復興に向けて、外と繋がったパイプを大切にして、季節の彩をみんなで共有できる町となればと思います。雨が降ってもゆったりと遊べる幼児用の施設があれば良いですね。

## 次の定例会議は 12 月 8 日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、町公式 LINE でお知らせしています。

## 編集後記

令和6年は地震と豪雨。令和7年も大雨。能登は天災が続いています。うつむきがちになりそうな能登の人々を、少しでも笑顔になれるようにと糸かけアート教室を開いている舟靖さん。今回、石川県美術展に入選した糸かけアートの題名は「明日へ」という作品です。能登の人々が全国から寄せられる暖かな支援を受け、「明日に向かっていこう」という気持ちを表現したそうです。（南 正晴）

### 広報編集

#### 特別委員会

委員長 小浦 肇  
副委員長 小路 政敏  
委員 馬場 等  
委員 田端 雄市  
委員 南 正晴  
委員 向峠 茂人

発行：能登町議会 編集：能登町議会広報編集特別委員会  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字出津ト字50番地 1  
TEL (0768) 62-8540 FAX (0768) 62-8541